

平成25年度進行管理・評価シート
津山市歴史的風致維持向上計画（平成21年7月22日認定）
（最終変更平成25年3月29日）

■進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実施のための組織体制による検討	1
2 津山市歴史的風致維持向上計画協議会の開催	2
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の策定・屋外広告物の規制	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 史跡津山城跡保存整備事業	4
2 武家屋敷修理活用事業(旧田淵邸)	5
3 苧田酒造修理事業	6
4 津山洋学資料館(旧館)修理活用事業	7
5 津山市城東町並保存地区の拡充(町並み修景整備事業)	8
【城東町並み保存事業の重点化】		
6 津山だんじりの保存・継承事業	9
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・指定	10
2 文化財の保存修理・防災・周辺環境	11
3 文化財の施設・普及啓発	12
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 城東地区「歴史まちづくり計画」等	13
⑥その他(様式1-6)		
1 まちづくりに関する取り組み	14

□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)

- ①計画に記載している方針(様式2-1)

□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

- ①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)

■法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	15
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	平成25年度 現在の状況
計画実施のための組織体制による検討			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	計画策定体制として、各事業担当部局及び調査部門が連携する庁内の横断的な組織(計画策定チーム)を形成。計画の実施・推進については、計画策定チームが中心となり、計画の追加、修正等の際には、協議会の意見を求めながら実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成24年度より観光振興課、文化課、歴史まちづくり推進室等で定期的を実施してきた歴史まちづくり調整会議(検討会議)を引き続き実施、および旧津山洋学資料館活用検討会議を実施することで情報の共有化を図り、文化財を含む文化遺産の保護・活用に関する連携、文化遺産を観光資源として活用するための連携を強化し、歴史まちづくりを推進するための検討を行った。 また、計画に位置づけた実施事業について津山市町並み保存活用検討会議を開催し、伝統的な町並みを維持向上させるための具体的な方針の決定及びその方針に基づく整備の円滑な推進について、広く意見の収集に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	多くの意見を踏まえたうえで調整を行うことが必要なため、事業に対する外部意見等の情報収集に努める。		
状況を示す写真や資料等			
○平成25年度歴史まちづくり調整会議実施状況 ・第1回歴史まちづくり調整会議 【日時及び場所】平成25年4月25日(木)9:00～10:30 津山市役所生涯学習室 【出席者】歴史まちづくり推進室5名、文化課2名、観光振興課1名 【協議事項】町並み保存整備について、街なみ環境整備事業について、重要伝統的建造物群保存地区の選定について			
○平成25年度旧津山洋学資料館活用検討会議実施状況 ・第1回旧津山洋学資料館活用検討会議幹事会 【日時及び場所】平成25年8月8日(木)10:00～12:00 津山市役所402会議室 【出席者】生涯学習部企画調整官、文化課1名、郷土博物館1名、洋学資料館1名、政策調整室1名、観光振興課1名、協働推進室1名、歴史まちづくり推進室1名 【協議事項】旧洋学資料館活用案について			
・第1回旧津山洋学資料館活用検討会議 【日時及び場所】平成25年10月11日(金)10:00～12:00 津山市役所401会議室 【出席者】生涯学習部長、産業経済部長、政策調整室長、観光振興課長、協働推進室長、文化課長、歴史まちづくり推進室長 【協議事項】旧洋学資料館活用案について			
○平成25年度津山市町並み保存活用検討会議実施状況 ・第1回津山市町並み保存活用検討会議 【日時及び場所】平成25年6月5日(水)13:30～17:30 津山市役所501会議室 【出席者】外部委員4名、地元委員6名、内部委員2名、幹事7名、事務局5名 【協議事項】武家地保存活用計画について、苅田家町家群整備活用計画について			
・第2回津山市町並み保存活用検討会議 【日時及び場所】平成25年8月12日(月)13:30～16:00 津山市役所501会議室 【出席者】外部委員5名、地元委員3名、内部委員3名、幹事7名、事務局5名 【協議事項】苅田家町家群整備活用計画について			
・第3回津山市町並み保存活用検討会議 【日時及び場所】平成25年11月18日(月)13:30～17:00 津山市役所大会議室 【出席者】外部委員5名、地元委員6名、内部委員3名、幹事6名、事務局5名 【協議事項】武家地保存活用計画について、苅田家町家群整備活用計画について			

評価軸①-2
組織体制

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
津山市歴史的風致維持向上計画協議会の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	庁内組織での検討内容結果等は、学識経験者、有識者、岡山県、岡山県教育委員会、市及び市教育委員会で構成される協議会に諮り協議。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>計画の実施状況等に関する意見を求めるため、津山市歴史的風致維持向上計画協議会を開催。 なお、計画の進行管理・評価等を実施し、評価結果に基づいて計画変更を協議するため、協議会は年2回開催。 ○第1回協議会：平成25年8月2日開催(内容：計画の進捗評価、計画変更案等) ○第2回協議会：平成25年12月20日開催(内容：計画の進捗評価、計画変更最終案等)</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>多くの意見を踏まえたうえでの計画の管理・調整を行うことが必要なため、事業に対する外部意見の収集に努め、収集方法等の検討を行っていく。</p>		
状況を示す写真や資料等			
<p>○平成25年度実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回津山市歴史的風致維持向上計画協議会 <ul style="list-style-type: none"> 【日時】平成25年8月2日(金)13:30～15:30 【場所】津山市役所501会議室 【出席者】美作大学講師、城西地区代表、岡山県土木部都市局都市計画課長、岡山県教育庁文化財課長、津山市都市建設部企画調整官、津山市産業経済部観光振興課長、津山市教育委員会生涯学習部文化課長、津山市都市建設部都市計画課長、津山市都市建設部公園緑地課長、事務局(3名) 【協議事項】・津山市歴史的風致維持向上計画事業の進行管理・評価(進捗評価)について ・津山市歴史的風致維持向上計画の変更案について ・第2回津山市歴史的風致維持向上計画協議会 <ul style="list-style-type: none"> 【日時】平成25年12月20日(金)13:30～15:30 【場所】津山市役所501会議室 【出席者】美作大学講師、城東地区代表、岡山県土木部都市局都市計画課長、岡山県教育庁文化財課長、津山市都市建設部企画調整官、津山市産業経済部観光振興課長、津山市教育委員会生涯学習部文化課長、津山市都市建設部都市計画課長、津山市都市建設部公園緑地課長、事務局(3名) 【協議事項】・津山市歴史的風致維持向上計画事業の進行管理・評価(進捗評価)について ・津山市歴史的風致維持向上計画の変更案について 			

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
景観計画の策定 屋外広告物の規制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

景観計画の策定にあたっては、市全域を景観法に基づく景観計画区域とするとともに、特に良好な景観を形成する必要がある区域を景観計画重点区域とする。また、歴史的風致維持向上計画の重点区域を景観計画重点区域とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画の策定:平成21年度から平成23年度にかけて重点区域内の整理を箇所別実施し、平成24年度から市内全域の景観形成の目標と方針に関する景観分類等の整理を行った。平成25年度は過年度からの取りまとめによる目標と方針を踏まえた景観形成の実現化の方策について検討を開始した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観計画策定事業

【実施状況】

景観計画においては、市全域を景観法に基づく景観計画区域とするともに、城下町ゾーンを景観計画重点区域として景観分類等の整理によって景観形成の方針を取りまとめた。

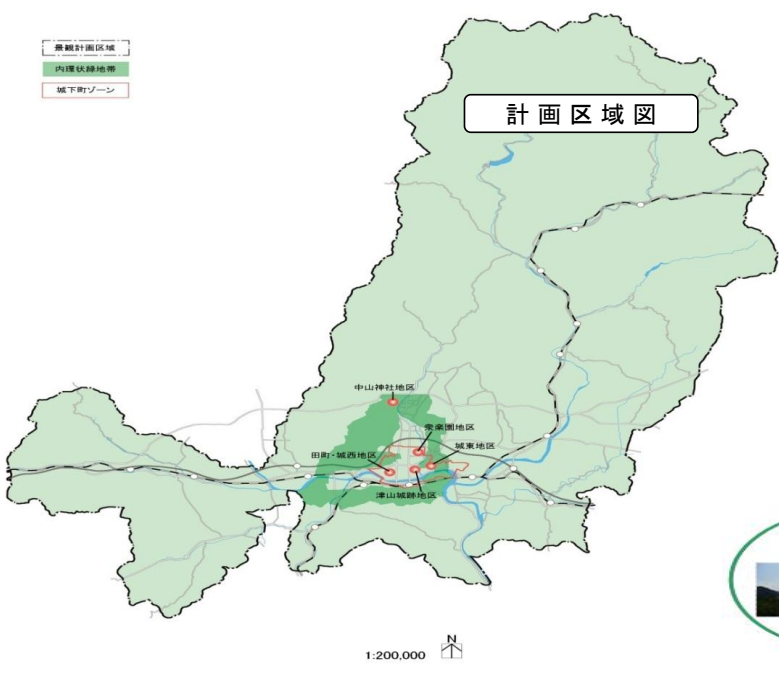
また、シンボリック的存在である津山城跡については、津山城跡地区として景観重点地区に定め、景観構成要素を整理するとともに土地の利用状況や建物の集積状況によってゾーンごとに整理した。

平成24年度から、市内全域の景観形成の目標と方針に関する景観分類等の整理を実施し、平成26年度で計画策定が完了する予定。

- ・平成21年度 津山城跡区域における景観計画の策定に関する検討
- ・平成22年度 津山城跡周辺区域における景観計画の策定に関する検討
- ・平成23年度 津山城跡近郊区域における景観計画の策定に関する検討
- ・平成24年度 市内全域の景観形成の目標と方針に関する景観分類等の整理
- ・平成25年度 景観形成に向けての実現化の方策についての検討を開始

○屋外広告物の規制

景観計画策定後に実施予定。



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度 現在の状況
史跡津山城跡保存整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成10～29年度		
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備費国庫補助		
計画に記載している内容	津山城跡(鶴山公園)は、津山だんじり等の活動の場である「津山城跡周辺地区」の核となる建造物であるため、一層の保存と活用を進めるために「史跡津山城跡保存整備計画」を策定して事業を実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
史跡津山城跡保存整備事業により、平成25年度は、天守台間詰石補修を平成24年度から継続して行った。また、穴蔵に下りるための階段が部分的に崩落していたため解体し積み直しを行った。 この整備により、歴史遺産の保存、観光・地域交流拠点としての活用をさらに拡大させていくための基盤整備を推進することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○史跡津山城跡保存整備事業 【平成25年度実施状況】 天守台間詰石補修・穴蔵石段の解体修理 【平成25年度実施内容】 天守台の石の隙間には、築造時に小さめの石を詰めて崩れないように補強していたが、長年の間にこれらの石が抜け落ち、隙間ができて危険な箇所も見受けられるため、平成24年度事業に引き続き天守台の内側を中心に石を詰め補強を行った。併せて、穴蔵に下りるための階段の崩落部分について、天守台への昇降に危険も生じていることから解体し、積み直しの修理を行った。			
			
〔天守台 施工前〕		〔天守台 施工中〕	
			
〔天守台 施工後〕			
			
〔穴蔵石段 施工前〕		〔穴蔵石段 施工後〕	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
武家屋敷修理活用事業(旧田淵邸)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年～26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧田淵邸は、津山だんじり等の活動が行われる市街地内の歴史上価値の高い建造物であるため、長屋門等の整備を実施。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

武家屋敷である旧田淵邸を保存・活用するため、平成23年度に施設公開、アンケート調査、パブリックコメントを実施して整備に関する意見聴取を行い、長屋門の保存整備、母屋を解体しての駐車場整備が整備計画案として検討されていた。しかし、駐車場予定地へのだんじり展示館建設要望が上がるなど計画に更なる検討が必要とし、平成24年度に整備計画の見直しに関するパブリックコメントを実施。

平成25年度には津山市町並み保存活用検討会議の中で2回の部会を開催し、旧田淵邸を含む「武家地保存活用計画」の策定について検討を行い武家地全体の保存活用の方針を審議するとともに、旧田淵邸の長屋門については往時の外観を残しつつ、地域の交流施設としての活用を目的とした整備の為の実施設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	長屋門の整備にあたり、武家地としての景観に配慮した施設整備を行う為、今後も検討を行う。

状況を示す写真や資料等

○武家屋敷修理活用事業

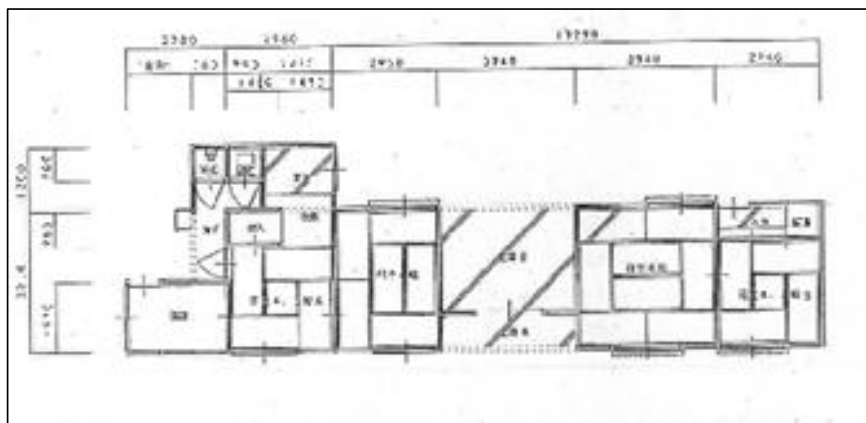
【平成25年度実施状況】

津山市町並み保存活用検討会議を開催し、2回の部会を設けてその中で旧田淵邸を含む「武家地保存活用計画」の策定に検討を行った。(P1参照)

長屋門については、外観は武家屋敷の長屋門としての往時の景観を保全しつつ、内部を地域住民の交流施設として活用するための実施設計を行った。



〔旧田淵邸長屋門の現況〕



〔長屋門平面図〕

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
苅田酒造修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年～29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 城東地区の出雲街道沿いにある苅田酒造は、「城東町並保存地区」の核となる建造物であるため、解体修理等を実施。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

苅田酒造を含む町家群の一体的な整備活用に関して「苅田家町家群整備活用計画」の策定を行った。なお、この計画の策定にあたっては、地域の意向や、文化的・観光的な視点を取り込むべく「津山市町並み保存活用検討会議」を組織し、その中で3回にわたって部会を行った。
また、苅田酒造(苅田家住宅及び酒造場)については、文化財としての適切な修理と価値づけを行うための文化財調査を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

調査を実施していく中で、更に詳細な調査が必要と判断したため、事業期間を延長し来年度、追加調査を行う。

状況を示す写真や資料等

○苅田酒造修理事業

【平成25年度実施状況】

津山市町並み保存活用検討会議を開催し苅田酒造及び周辺町家群を含む「苅田家町家群整備活用計画」の策定について検討を行った。(P1参照)

また、苅田酒造(苅田家住宅及び酒造場)は文化財調査を実施した。



[苅田酒造・正面]



[苅田酒造主屋・小屋組み]



[苅田家町家群整備活用基本計画]

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
津山洋学資料館(旧館)修理活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年～27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 津山洋学資料館(旧館)は出雲街道沿いにある城東地区の核となる建造物であるため、老朽化した屋根の修理等を実施。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

安全性の確保と文化財の補修を目的として、老朽化した屋根の修繕を行った。平成24年度に1箇所(西降り棟部分の屋根瓦)、平成25年度に2箇所(北東降り棟部分及び玄関屋根下り棟部分)の屋根瓦の修繕を行った。また、修理完了後の津山洋学資料館(旧館)の活用検討会議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

老朽化部分修理完了後の建物の活用の方針について、今後も検討を行う。

状況を示す写真や資料等

【平成24年度実施内容】

津山洋学資料館(旧館)本館の西降り棟部分の屋根瓦が部分的に落ち、下の土が見えている状況であった。修繕の為、割れた瓦を撤去、使える瓦はそのまま使用しつつ足りないものを補充して、土とセメント及び漆喰により固定した。



着手前



降り棟積替え施行中



積替え完了

【平成25年度実施内容】

津山洋学資料館(旧館)本館の北東降り棟及び玄関屋根下り棟部分の屋根瓦が部分的に落ち、下の土が見えている状況であった。修繕の為、割れた瓦を撤去、使える瓦はそのまま使用しつつ足りないものを補充して、土とセメント及び漆喰により固定した。



着手前



改修後

旧津山洋学資料館活用検討会議幹事会及び旧津山洋学資料館検討会議を開催し、修理完了後の活用について検討を行った(P1参照)

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況

津山市城東町並保存地区の拡充(町並み修景整備事業)
【城東町並み保存事業の重点化】

実施済
 実施中
 未着手

事業期間 平成21年～25年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 城東の歴史的町並を保存し、後世に伝えるため、補助率の上乗せによる重点的な取り組みを検討。出雲街道「城東町並み保存地区」の修景等について、重点補助を行うことで促進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町並保存対策補助事業によって修景整備に取り組んできたが、年間1件程度の修景補助にとどまっていたため、平成21年度から補助率を引き上げるとともにまちづくり講演会、ワークショップ等によって啓発を推進してきた。その結果、修景整備に関する意識が高まり、修景補助については利用希望者が大幅に増加し、計画期間内の目標値を大きく上回った。

- 平成25年度修景実績: 2件
- 平成21～25年度修景実績: 12件(目標値: 6件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○町並み修景整備事業
【平成25年度修景状況】

- ・修景実績: 2件
- ・修景状況: ①建物分割に伴って仕切り土壁が露出した建物西側の妻面の外部修理



〔施工前〕



〔施工後〕

②経年劣化により腐朽した門の修繕



〔施工前〕



〔施工後〕

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
津山だんじりの保存・継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21～25年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業

計画に記載している内容
 津山固有の歴史や伝統を反映した津山だんじりの修理を実施。津山だんじりの修理により、当時の製作技術・技法等を知る事ができるとともに、次世代への技術の伝承につながる事が期待される。
 また、津山まつりのメインになる出し物であるため、修理されただんじりの出動により、津山まつりがより活性化されることが期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 津山だんじりの保存・継承事業により、平成25年度は、だんじり1基の修理を実施した。
 継続して行われてきた取組みの成果として、地域においてもだんじりの保存・継承に関する機運が高まっており、今年度の津山まつりには戦後最大の数である22台のだんじりが出動した。
 ○平成25年度保存修理数:1台(平成21～24年度保存修理数:20台)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	保存修理が必要なだんじりが多数残っているため、保存修理事業の事業期間を延伸して津山だんじりの保存・継承に努める。

状況を示す写真や資料等

○津山だんじりの保存修理事業
 【平成25年度実施状況】
 1台(二階町町内会)
 【平成25年度実施内容】
 文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」により、平成25年度は二階町のだんじりの保存修理を実施した。
 修理はだんじりの提灯部分について行い、破損していただんじりの提灯の大4個、小10個の計14個について交換を行った。



〔二階町だんじり(鶴龍墓)〕



〔二階町だんじり(提灯部分)〕

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
----	--------	-----------------

文化財の調査・指定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	--	---

計画に記載している内容 未指定文化財の調査を継続し、保存が必要と判断されるものについては新たに指定を行って保存・活用に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○文化財の調査: 苺田家住宅及び酒造場の文化財調査(P6参照)

○文化財の指定: 中山神社の太鼓を市指定文化財に指定(H25.4.23)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○文化財の調査

苺田家住宅及び酒造場の調査を行ったが、追加調査の必要があると判断された。(P6参照)また、建造物の調査に併せて、苺田家に残されていた古文書や酒造りの道具なども文化財として適切な価値づけのため、個別に調査を行った。

○文化財の指定

【平成25年度市指定文化財】



〔中山神社の太鼓・全体〕



〔中山神社の太鼓・内部墨書〕

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
文化財の保存修理・防災・周辺環境		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の修理は、損傷が進まない内に実施するように努める。指定文化財のほとんどが木造で、火災に弱いことから、適正な管理や見回り・啓発などの予防活動により防災に努める。また、文化財周辺の環境を保全するために、景観計画の策定や啓発活動等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存修理: 国指定史跡津山城跡保存整備事業(P4参照) 津山洋学資料館(旧館)修理活用事業(P7参照) 県指定津山だんじりの保存修理(P9参照)
- 文化財の防災対策: 重要文化財査察(1/20,1/21) 津山市消防団文化財防災訓練(1/26)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財の保存修理については、復元方針、材料の確保、職人の確保が課題となっているため、これらの課題に関する対応について、継続して検討を行っていく。

状況を示す写真や資料等

○文化財の保存修理

【国指定史跡津山城跡保存整備事業】(P4参照)

津山城跡は昭和38年に国の史跡に指定されており、以前からその修理に取り組んできている。平成25年度は天守台間詰石及び穴蔵石段の修理を行った。

【津山洋学資料館(旧館)修理活用事業】(P7参照)

津山洋学資料館(旧館)はかつて旧妹尾銀行林田支店であった建物を利用し資料館として活用されていた市指定文化財である。出雲街道沿いの核となる施設でもあり、安全性の観点からも平成24年度、平成25年度に屋根の修理を行った。

【津山だんじりの保存修理状況】(P9参照)

津山だんじりは、唐破風造の屋根などに彫刻を施すなど町内ごとに競って豪華なだんじりを作成したもののうち28基が県指定に指定されており、保存・活用が求められているため、平成25年度は二階町のだんじりを修理した。修理はだんじりの提灯部分の修理を行った。

○文化財の防災対策

【文化財防火デーにおける防災活動】



〔重要文化財査察風景〕



〔防火訓練風景〕

○周辺環境

文化財周辺の環境保全のため、景観計画の策定に向けて方策の検討を行った。(P3参照)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
文化財の施設・普及啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存、活用に関する普及啓発を推進するため、説明会・報告会等を開催。また、市内の伝統文化や工芸技術等の活動に重点を置いたデータベース化に取り組み、市民に知ってもらう機会を増やし、結果的に文化や技術の継承・育成につながるよう努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○文化財の普及啓発: 美作考古学談話会、第32回文化財調査報告会、第9回全国国分寺サミットin美作国分寺 陶棺復元プロジェクトシンポジウム			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○文化財の普及啓発

・美作考古学談話会

- 第1回 6月1日(土)「国分寺」
- 第2回 7月6日(土)「実物大の陶棺復元作業見学会」
- 第3回 10月5日(土)「復元陶棺の焼成見学会」
- 第4回 12月7日(土)「古代の国家事業」
- 第5回 1月11日(土)「美作国の建国を考えるー美作の古墳を中心にしてー」
- 第6回 3月29日(土)「旧津山藩別邸庭園(衆楽園)確認調査について」

・第32回文化財調査報告会

- 日 時: 平成26年3月1日(土)
- 場 所: リージョンセンター ペンタホール
- 参加人数: 100名
- 概 要: 研究報告1「美作の幕領に関する資料について」
津山郷土博物館 東 万里子
- 研究報告2「羽柴秀吉の禁制状と黒田官兵衛の書状」
津山郷土博物館 梶村 明慶
- 講演「陶棺を復元して」
勝北陶芸の里工房指導員 花岡 勉

・第9回全国国分寺サミット2013in美作国分寺

- 日 時: 平成25年10月12日(土)～13日(日)
- 場 所: 津山市国分寺地内 史跡美作国分寺跡ほか
- 参加人数: 300人
- 概 要: 全国の国分寺が存在する13の自治体が、文化財を活かしたまちづくりについて考えるサミット

・陶棺復元プロジェクトシンポジウム

- 日 時: 平成25年10月27日(日)
- 場 所: 津山市勝北文化センター
- 参加人数: 200人
- 概 要: 全国の半数が美作で出土する、古墳時代の棺桶「陶棺」の謎について考えるシンポジウム



〔第9回全国国分寺サミットの様子〕



〔陶棺復元プロジェクトシンポジウムの様子〕

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		平成25年度 掲載紙等
城東地区「歴史まちづくり計画」	H25.4.24	山陽新聞
徳守神社神輿庫完成し奉祝祭	H25.4.24	山陽新聞
城東地区 重伝建選定	H25.5.18	山陽新聞
徳守祭だんじり若頭會	H25.6.14	山陽新聞
津山城模擬天守閣 完成	H25.8.2	津山朝日新聞
出雲街道沿いの魅力再発見～街道歩き城東・城西～	H25.9.9	津山朝日新聞
城西まるごと博物館フェア	H25.10.8	山陽新聞
津山市で全国国分寺サミット	H25.10.15	山陽新聞
津山まつり大神輿	H25.10.21	津山朝日新聞
だんじり出動戦後最多	H25.10.28	山陽新聞
宵のまち歩き～だんじり見学楽しむ～	H25.10.29	津山朝日新聞
第24回 津山城東むかし町開催	H25.11.6	山陽新聞
作州餅の作業体験	H25.11.15	山陽新聞
陶棺 美作国の独自性象徴	H25.11.28	山陽新聞
作州民芸館にて「野菜と魚の市」	H25.12.16	津山朝日新聞
火災から文化財を守ろう～文化財防火デー～	H26.1.20	津山朝日新聞
重伝建・城東地区で津山市消防団訓練	H26.3.3	津山朝日新聞
城東地区で空き家対策補助金による新店舗オープン	H26.3.16	山陽新聞
作州餅工芸館オープン	H26.3.17	山陽新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
津山市の歴史・文化遺産の保全や活用、良好な景観の創出に関する方針等を周知した結果、津山市の歴史的風致に関する関心を高めることが出来た。 また、さまざまな啓発活動等により、地域のまちづくり活動の活性化につながった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成25年度

項目

まちづくりに関する取り組み

計画に記載している内容 城西地区では、歴史的な町並みや人々のくらしを一つの博物館ととらえる「城西博物館構想」を進めており、毎年、「津山・城西まるごと博物館フェア」を開催。
城東地区では、町並みや伝統的な産業・文化を守り伝えようと沿線13町内会が「出雲街道津山城東むかし町」を開催。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的景観が多く残されている城西地区、城東地区を中心に、歴史遺産の掘り起しや再発見に取り組む活動が行われた。また、まちづくり活動を推進するため、まちづくり活動支援員を配置して歴史遺産を活用したまちづくりの普及啓発に努めた。城西地区においては、まるごと博物館構想推進員を配置し、地域の歴史的建造物である作州民芸館の活用推進などにより、地域活動の活性化を図った。

平成23年度に城西地区、城東地区においてまちづくり協議会が設立して以降、平成25年度も歴史まちづくり活動の拡大に努めているが、結果として両地域及び周辺に歴史まちづくりの機運がより高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

 計画の進捗に影響あり

 計画の進捗に影響なし

地域のまちづくり活動の支援を効果的に行うべく、協議会等との連携強化や情報共有の推進に努める。

状況を示す写真や資料等

(城西地区)

地元住民を中心とした各種イベントを実施し、城西地区の歴史的魅力の再発掘に努めている。
また、旧中島病院本館をまちづくり拠点として活用し、まちづくり活動の推進に努めている。

○津山・城西まるごと博物館フェア

【事業内容】古い町並みが残る城西地区を博物館に見立て、手仕事で賑わった大正時代の町並みや暮らしを紹介するイベントを実施。このイベントにより、地域の再発見や交流を図る。
平成25年度で18回目の開催となる。

【実施主体】津山・城西まるごと博物館フェア実行委員会(城西まちづくり協議会)

○野菜と魚の市

【事業内容】登録有形文化財である作州民芸館を活用し、月に一度、やさいと魚の市をオープン。
地域の文化財の活用を推進するとともに、地元住民の交流を図る。

【実施主体】つやま城西ほりおこし隊(城西まちづくり協議会)

○機織り人養成講座

【事業内容】岡山県郷土伝統的工芸品「作州絣」の復興を目的に機織り人養成講座を開講。

【実施主体】作州絣保存会、つやま城西ほりおこし隊(城西まちづくり協議会)

○旧中島病院本館(城西浪漫館)指定管理業務(平成21年度～)

【事業内容】歴史的洋風建造物をまちづくり拠点施設として活用し、喫茶、展示ギャラリーなどの事業によって歴史的遺産を有効に活用したまちづくり活動を推進する。

【利用状況】平成24年度 来館者数7,324人 喫茶利用者数4,706人

平成25年度 来館者数7,339人 喫茶利用者数4,198人

(城東地区)

地域住民が中心になってまちづくりイベントを行い、出雲街道を中心とする歴史遺産の発掘、魅力の創出に努めている。

○出雲街道津山城東むかし町

【事業内容】城東地区の出雲街道1.2kmを歩行者天国とし、昔の町人文化を表現するため、住民による江戸期風仮装や昔風イベントを実施。このイベントにより、町のすばらしさ、町並みのすばらしさを再認識し、活力ある町の創出を図る。
平成25年度で24回目の開催となる。

【実施主体】津山城東むかし町実行委員会(城東まちづくり協議会)

○城東むかし町歴史探訪ウォーク

【事業内容】城東地区のまちづくりを推進するため、城東の歴史を探訪するウォーキングを実施。地区の魅力を内外に発信し、「訪れたいまち」、「住みたいまち」を目指す。

【実施主体】城東まちづくり協議会

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成25年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:津山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時:平成25年8月2日・平成25年12月20日	
(コメントの概要) 平成25年8月2日開催 ・新規に文化財指定されたものなどは、計画への記載を増補していく方が良いのではないか。 ・伝統産業には、技術の復活など大きな動きがみられるものがある。計画へ記載した方が良い。	
平成25年12月20日開催 ・歴史的風致形成建造物候補は、同じ条件下にあるものは全て同時に指定候補とする方が良い。	
(今後の対応方針) ・新規に文化財指定されたものや伝統産業の動向に関する事項については、計画への記載が追加できる部分がないかを今後も検討を行う。	